

## Oracle.1z0-1085-22.v2022-08-08.q34

試験コード:	1z0-1085-22
試験名称:	Oracle Cloud Infrastructure 2022 Foundations Associate
認定資格:	Oracle
無料問題数:	34
バージョン:	v2022-08-08
アクセス数:	467
ページビュー数:	340
<a href="https://www.jpnpdf.com/Oracle.1z0-1085-22.v2022-08-08.q34-mondaishu.html">https://www.jpnpdf.com/Oracle.1z0-1085-22.v2022-08-08.q34-mondaishu.html</a>	

### 最新問題: 1

Oracle Cloud Infrastructureがインシデントを作成または解決するたびに利用できないのはどれですか？

- A. Twitterの通知
- B. テキストメッセージ通知
- C. メール通知
- D. Webhook通知

**Answer:** ([解答を表示する](#))

Oracle Cloud Infrastructure Notificationsサービスは、パブリッシュ/サブスクライブパターンを介して分散コンポーネントにメッセージをブロードキャストし、Oracle Cloud Infrastructureでホストされているアプリケーションと外部でホストされているアプリケーションに、安全で信頼性が高く、待ち時間が短く、耐久性のあるメッセージを配信します。通知を使用して、イベントルールがトリガーされたとき、またはアラームが違反されたときに通知を受け取るか、メッセージを直接公開します。

Oracle Cloud Infrastructure Notificationsサービスによって電子メールとして送信されるメッセージは、Oracleリソースを介して処理および配信されます。

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Notification/Concepts/notificationoverview.htm>

### 最新問題: 2

My Oracle Support (MOS)で使用できないのはどれですか？

- A. テナント管理者を追加または変更します
- B. サービス制限の引き上げをリクエストする
- C. パスワードをリセットするか、テナンシー管理者のアカウントのロックを解除します
- D. OracleCloudInfrastructureの無料トライアルアカウントでリソースのトラブルシューティングを行う

**Answer:** D ([メッセージを残す](#))

有料アカウントでは、MOSオプションを使用してサポートサービスリクエストを開くことができます。Always Freeリソースのみを使用しているお客様は、Oracleサポートの対象にはなりません。無料トライアルクレジットのある無料利用枠アカウントでは、限定的なサポートを利用できます。すべてのクレジットを使用した後、または試用期間が終了した後（どちらか早い方）、Oracleサポートにアクセスするには有料アカウントにアップグレードする必要があります。アップグレードせずにAlwaysFreeServicesを引き続き使用することを選択した場合、MyOracleSupportでサービスリクエストを発行する資格はありません。

技術的な問題のサポートに加えて、次のことが必要な場合はMyOracleSupportを使用してください。

\*パスワードをリセットするか、テナンシー管理者のアカウントのロックを解除します

\*テナンシー管理者を追加または変更する

\*サービス制限の引き上げをリクエストする

参照：

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/GSG/Tasks/contactingsupport.htm>

### 最新問題: 3

オラクルクラウドインフラストラクチャのコンピューティングサービスに関して正しい説明はどれですか。

- A. コンピューティングインスタンスを停止すると、ブートボリューム上のすべてのデータが失われます
- B. 各コンピューティングインスタンスに最大1つのパブリックをアタッチできます
- C. 仮想マシンまたはベアメタルインスタンスのいずれかを起動できます
- D. ブロックボリュームをコンピューティングインスタンスにアタッチすることはできません

**Answer: (解答を表示する)**

Oracle Cloud Infrastructure Computeを使用すると、インスタンスと呼ばれるコンピューティングホストをプロビジョニングおよび管理できます。

。コンピューティングとアプリケーションの要件を満たすために、必要に応じてインスタンスを起動できます。インスタンスを起動した後、コンピュータから安全にインスタンスにアクセスし、再起動し、ボリュームをアタッチおよびデタッチし、終了したらインスタンスを終了できます。インスタンスのローカルドライブに加えられた変更は、終了すると失われます。インスタンスに接続されているボリュームに保存された変更はすべて保持されます。

Oracle Cloud Infrastructureは、ベアメタルインスタンスと仮想マシンインスタンスの両方を提供します。

1) ベアメタル :ベアメタルコンピューティングインスタンスは、最高のパフォーマンスと強力な分離のための専用の物理サーバーアクセスを提供します。

2) 仮想シン :仮想シン (VM)は、物理的なベアメタルハードウェア上で実行される独立したコンピューティング環境です。仮想化により、相互に分離された複数のVMを実行できます。VMは、物理マシン全体のパフォーマンスとリソース (CPU、メモリ、ネットワーク帯域幅、ストレージ)を必要としないアプリケーションを実行するのに理想的です。

Oracle Cloud Infrastructure VMコンピューティングインスタンスは、ベアメタルインスタンスと同じハードウェア上で実行され、同じクラウドに最適化されたハードウェア、ファームウェア、ソフトウェアスタック、およびネットワーキングインフラストラクチャを活用します。

**最新問題: 4**

Oracle Cloud Infrastructure Computeサービスで提供されていないサービスレベルアグリーメントタイプはどれですか？

- A. データプレーン
- B. パフォーマンス
- C. アプリケーションプレーン
- D. コントロールプレーン

**Answer: C (メッセージを残す)**

オラクルは、このセクション (サービスレベルアグリーメント) で定義されているように、いくつかの異なるサービスレベルアグリーメントを提供しています。

参照 :

<https://www.oracle.com/assets/paas-iaas-pub-cld-srvs-pillar-4021422.pdf>

**最新問題: 5**

複数のユーザーをチームに編成するのに役立つOCIIDおよびアクセス管理機能はどれですか。

- A. ポリシー
- B. グループ
- C. 動的グループ
- D. ユーザー

**Answer: B (メッセージを残す)**

IAMグループは、特定のリソースまたはコンパートメントのセットへの同じタイプのアクセスをすべて必要とするユーザーのコレクションです。

IAM DYNAMIC GROUPは、定義したルールに一致するリソース (コンピューティングインスタンスなど) を含む特殊なタイプのグループです (したがって、一致するリソースが作成または削除されると、メンバーシップは動的に変更されます)。これらのインスタンスは「主要な」アクターとして機能し、動的グループ用に作成したポリシーに従ってサービスへのAPI呼び出しを行うことができます。

参照 :

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Identity/Concepts/overview.htm>グループ :

特定のリソースまたはコンパートメントのセットへの同じタイプのアクセスをすべて必要とするユーザーのコレクション。

# Working with Groups

When creating a group, you must provide a unique, unchangeable *name* for the group. The name must be unique across all groups within your tenancy. You must also provide the group with a *description* (although it can be an empty string), which is a non-unique, changeable description for the group. Oracle will also assign the group a unique ID called an Oracle Cloud ID (OCID). For more information, see [Resource Identifiers](#).

## Note

If you delete a group and then create a new group with the same name, they'll be considered different groups because they'll have different OCIDs.

A group has no permissions until you write at least one **policy** ⓘ that gives that group permission to either the tenancy or a compartment. When writing the policy, you can specify the group by using either the unique name or the group's OCID. Per the preceding note, even if you specify the group name in the policy, IAM internally uses the OCID to determine the group. For information about writing policies, see [Managing Policies](#).

You can delete a group, but only if the group is empty.

For information about the number of groups you can have, see [Service Limits](#).

If you're federating with an identity provider, you'll create mappings between the identity provider's groups and your IAM groups. For more information, see [Federating with Identity Providers](#).

## 最新問題: 6

Oracle Cloud Infrastructure Identity and Access Managementサービスの一部である3つのコンポーネントはどれですか？

- A. 仮想クラウドネットワーク
- B. ポリシー
- C. 地域のサブネット
- D. 動的グループ
- E. 役割
- F. インスタンスの計算
- G. ユーザー

**Answer: B,D,G (メッセージを残す)**

IAMコンポーネントは  
資源

会社の従業員がOracleCloudInfrastructureと対話するときに作成し、使用するクラウド・オブジェクト。例 :コンピューティングインスタンス、ブロックストレージボリューム、仮想クラウドネットワーク (VCN)、サブネット、ルートテーブルなど。

## ユーザー

会社のOracleCloudInfrastructureリソースを管理または使用する必要がある個々の従業員またはシステム。ユーザーは、インスタンスの起動、リモートディスクの管理、仮想クラウドネットワークの操作などを行う必要がある場合があります。アプリケーションのエンドユーザーは通常、IAMユーザーではありません。ユーザーは1つ以上のIAMクレデンシャルを持っています (ユーザークレデンシャルを参照)。

## ポリシー

誰がどのリソースにどのようにアクセスできるかを指定するドキュメント。アクセスはグループおよびコンパートメントレベルで付与されます。つまり、特定のコンパートメント内、またはテナンシー自体への特定のタイプのアクセスをグループに与えるポリシーを作成できます。グループにテナンシーへのアクセスを許可すると、グループはテナンシー内のすべてのコンパートメントに同じタイプのアクセスを自動的に取得します。詳細については、シナリオの例とポリシーの仕組みを参照してください。「ポリシー」という言葉は、さまざまな方法で人々によって使用されます。ポリシー言語で書かれた個々のステートメントを意味します。「ポリシー」ドキュメント

(Oracle Cloud ID (OCID)が割り当てられている)という名前の単一のステートメントのコレクションを意味します。また、組織がリソースへのアクセスを制御するために使用するポリシー全体を意味します。

## グループ

特定のリソースまたはコンパートメントのセットへの同じタイプのアクセスをすべて必要とするユーザーのコレクション。

## ダイナミックグループ

定義したルールに一致するリソース (コンピューティングインスタンスなど)を含む特別なタイプのグループ (したがって、一致するリソースが作成または削除されると、メンバーシップは動的に変更される可能性があります)。これらのインスタンスは「主要な」アクターとして機能し、動的グループ用に作成したポリシーに従ってサービスへのAPI呼び出しを行うことができます。

## ネットワークソース

テナンシー内のリソースへのアクセスが許可されているIPアドレスのグループ。IPアドレスは、パブリックIPアドレスまたはテナンシー内のVCNからのIPアドレスにすることができます。ネットワークソースを作成したら、ポリシーを使用して、ネットワークソースのIPから発信された要求のみにアクセスを制限します。

## 区画

関連リソースのコレクション。コンパートメントは、クラウドリソースを編成および分離するためのOracleCloudInfrastructureの基本コンポーネントです。これらを使用して、使用量と請求、アクセス (ポリシーの使用による)、および分離 (一つのプロジェクトまたはビジネスユニットのリソースを別のプロジェクトまたはビジネスユニットから分離する)を測定する目的で、リソースを明確に分離します。一般的なアプローチは、組織の主要部分ごとにコンパートメントを作成することです。詳細については、テナントの設定を参照してください。

## テナント

組織のすべてのOracleCloudInfrastructureリソースを含むルートコンパートメント。Oracleは、会社のテナントを自動的に作成します。テナンシー内には、IAMエンティティ ユーザー、グループ、コンパートメント、および一部のポリシー。テナンシー内のコンパートメントにポリシーを配置することもできます)が直接含まれます。作成したコンパートメント内に、他のタイプのクラウドリソース (インスタンス、仮想ネットワーク、ブロックストレージボリュームなど)を配置します。

**ホームリージョン**  
IAMリソースが存在するリージョン。すべてのIAMリソースはグローバルであり、すべてのリージョンで利用できますが、定義のマスターセットは、ホームリージョンである単一のリージョンに存在します。ホームリージョンのIAMリソースに変更を加える必要があります。変更はすべてのリージョンに自動的に反映されます。詳細については、リージョンの管理を参照してください。

**フェデレーション**  
管理者がIDプロバイダーとサービスプロバイダーの間で構成する関係。Oracle Cloud InfrastructureをIDプロバイダーとフェデレーションする場合、IDプロバイダーでユーザーとグループを管理します。OracleCloudInfrastructureのIAMサービスで許可を管理します。Oracle Cloud Infrastructureのテナントは、デフォルトでOracle IdentityCloudServiceと統合されています。

参照 :

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/data-safe/doc/iam-components.html>

最新問題: 7

合計ネットワークスループットは仮想マシン (VM) インスタンスにどのように割り当てられますか？

- A. ネットワーク帯域幅は可変です
- B. ネットワーク帯域幅はインスタンス形状のOCPUの数に比例します
- C. コンピューティングインスタンスを起動するときに、お客様は必要な最大ネットワーク帯域幅を選択できます
- D. 選択した形状に関係なく、各VMには10Gbpsのネットワーク帯域幅が割り当てられます

**Answer:** [\(解答を表示する\)](#)

シェイプは、インスタンスに割り当てられるCPUの数、メモリの量、およびその他のリソースを決定するテンプレートです。

ネットワーク帯域幅は、インスタンス形状のOCPUの数に正比例します。

## Flexible Shapes

A flexible shape is a shape with a customizable number of OCPUs. When you [create a VM instance](#) using the flexible shape, you select the number of OCPUs that you need for the workloads that you will run on the instance. The amount of memory, network bandwidth, and number of VNICs scale proportionately with the number of OCPUs.

The VM.Standard.E3.Flex shape, a [VM standard shape](#), is a flexible shape.

### 最新問題: 8

Oracle Cloud Infrastructure (OCI)は、業界をリードする価格パフォーマンスを提供する2つの方法を教えてください。

- A. OCIは高度な暗号化を活用して、パフォーマンスを高速化します
- B. OCIを使用すると、価格は低く、すべての地域とサービスで予測可能です。
- C. OCIハイパーバイザーは、業界の読み込みパフォーマンスを提供します。
- D. OCIは、サービスレベルアグリーメントでパフォーマンスの主張を裏付けています。
- E. OCIはCPUをオーバーサブスクライブせず、メモリのみをオーバーサブスクライブします。

**Answer: B,D (メッセージを残す)**

OCIは、高速パフォーマンスにつながる高度な暗号化を活用します。OCIはCPUをオーバーサブスクライブせず、メモリのみをサブスクライブします。OCIハイパーバイザーは、業界をリードするパフォーマンスを提供します。

ただし、OCIはSLAを使用してクレームを処理し、すべてのサービスに対して予測可能な価格を提供します。

参照：

<https://www.oracle.com/in/cloud/pricing.html>

### 最新問題: 9

Oracle Cloud Free Tierの一部として利用できないサービスはどれですか？

- A. Oracle Cloud Infrastructure Monitoring
- B. Oracle Cloud Infrastructure Exadata DB Systems
- C. Oracle Cloud Infrastructure Autonomous Data Warehouse
- D. Oracle Cloud Infrastructure Compute

**Answer: B (メッセージを残す)**

Oracle Cloud Infrastructure Free Tierの詳細については、以下の公式ドキュメントを参照してください。

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/FreeTier/freetier.htm?Highlight=Free%20Tier>

Exadata DBシステムは無料利用枠の一部ではありません：

The screenshot shows the Oracle Cloud Infrastructure Free Tier page. The navigation bar includes Infrastructure, Databases, Application Development, and Analytics. The Databases section is expanded, showing several services:

- Autonomous Transaction Processing**: 3,338 hours, 2 TB of Oracle Exadata storage. Mission-critical transaction processing made effortless; the future of database in the cloud.
- Autonomous Data Warehouse**: 3,338 hours, 2 TB of Oracle Exadata storage. Get your data warehouse deployed in seconds. Fully managed, preconfigured, and optimized.
- NoSQL Database Cloud**: Dynamically provision your read, write, or storage units until the free credits are consumed. Get up and running in minutes.
- Database**: 3,200 hours, 500 GB of storage. The most complete, integrated, and secure database for any deployment.
- Database Backup**: 5 TB of Oracle Database backups. A secure, scalable, on-demand storage solution for backing up your Oracle Database to the cloud.

The Oracle logo is visible in the top right corner of the page.

最新問題: 10

IAM経由でアクセスを制御できるサービスは次のうちどれですか？

- A. ネットワークコンポーネント
- B. インスタンスの計算
- C. IAMを含むすべてのサービス
- D. DBシステム

Answer: ([解答を表示する](#))

Oracle Cloud Infrastructure Identity and Access Management (IAM)を使用すると、クラウド・リソースにアクセスできるユーザーを制御できます。ユーザーのグループが持つアクセスの種類と特定のリソースを制御できます。このセクションでは、IAMコンポーネントの概要と、それらがどのように連携するかを理解するのに役立つシナリオ例を示します。

## Components of IAM

IAM uses the components described in this section. To better understand how the components fit together, see [Example Scenario](#).

### RESOURCE

The cloud objects that your company's employees create and use when interacting with Oracle Cloud Infrastructure. For example: compute instances, block storage volumes, virtual cloud networks (VCNs), subnets, route tables, etc.

### USER

An individual employee or system that needs to manage or use your company's Oracle Cloud Infrastructure resources. Users might need to launch instances, manage remote disks, work with your virtual cloud network, etc. End users of your application are not typically IAM users. Users have one or more IAM credentials (see [User Credentials](#)).

### GROUP

A collection of users who all need the same type of access to a particular set of resources or compartment.

最新問題: 11

Oracle Cloud Infrastructureは、どの3つの業界標準に準拠していますか？

- A. SOC1タイプ2およびSOC2タイプ2の認証
- B. NERC重要インフラストラクチャ保護基準
- C. 医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律 (HIPAA)
- D. ISO 27001 :2013認証

E. ヘルスケアコンプライアンス協会 (HCCA)

**Answer:** ([解答を表示する](#))

OCIが準拠するすべての業界標準の公式リストは次のとおりです。<https://www.oracle.com/in/cloud/cloud-infrastructure-compliance/>

最新問題: 12

OCI予算は、どの2つのオプションに設定できますか？

- A. コスト追跡タグ
- B. 自由形式のタグ
- C. コンパートメント
- D. 仮想クラウドネットワーク
- E. テナンシー

**Answer:** ([解答を表示する](#))

OCIでは、予算を使用してOracleCloudInfrastructureの支出にソフト制限を設定できます。予算にアラートを設定して、予算を超過する可能性があることを通知できます。また、Oracle Cloud Infrastructureコンソールの1つの場所から、すべての予算と支出を表示できます。

予算は

- \*コスト追跡タグ
- \*コンパートメント (ルートコンパートメントを含む)

参照 :

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Billing/Concepts/budgetsoverview.htm>

最新問題: 13

基盤となるインフラストラクチャリソースをプロビジョニングせずにコードを実行できるOracleCloudInfrastructureサービスはどれですか？

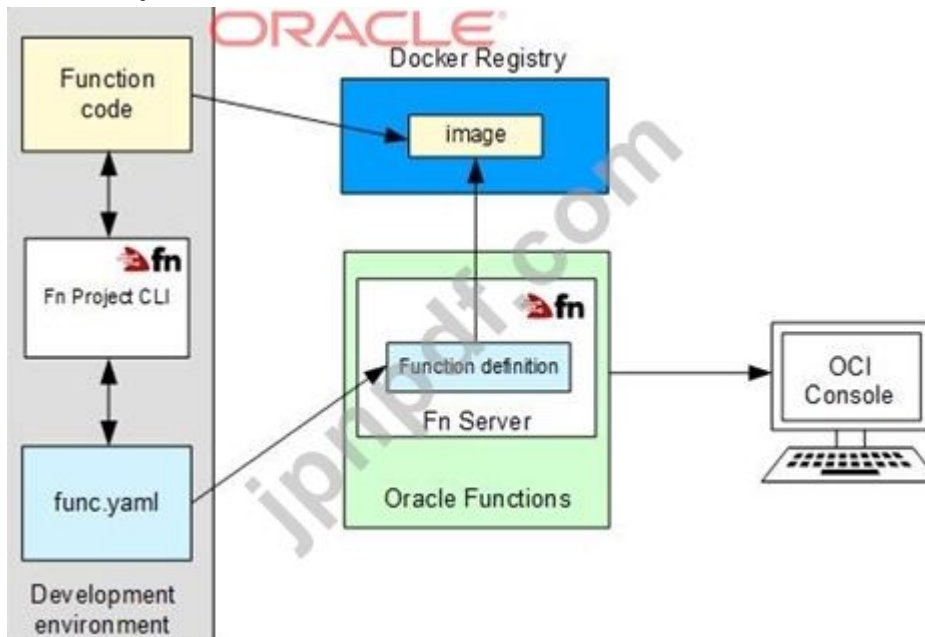
- A. コンピューティングサービス
- B. ストレージゲートウェイ
- C. Kubernetes用のOracle Container Engine
- D. Oracle関数

**Answer:** ([解答を表示する](#))

Oracle Functionsは、フルマネージド、マルチテナント、高度にスケーラブル、オンデマンドのFunctions-as-a-Serviceプラットフォームです。エンタープライズグレードのOracleCloudInfrastructure上に構築され、FnProjectオープンソースエンジンを搭載しています。ビジネスニーズを満たすコードの記述に集中したい場合は、OracleFunctions (単にFunctionsと略されることもあります)を使用します。

Oracle Functionsのサーバーレスで弾力性のあるアーキテクチャは、実行するインフラストラクチャ管理やソフトウェア管理がないことを意味します。コンピューティングインスタンスをプロビジョニングまたは保守する必要はなく、オペレーティングシステムソフトウェアのパッチとアップグレードが自動的に適用されます。Oracle Functionsは、アプリの高可用性、スケーラブル、安全性、および監視を保証するだけです。Oracle Functionsを使用する

と、Java、Python、Node、Go、およびRubyでコードを記述できます（高度なユースケースの場合は、独自のDockerfileとGraal VMを持参してください）。次に、コードをデプロイし、直接呼び出すか、イベントに応じてトリガーし、実行中に消費されたリソースに対してのみ請求を行うことができます。



#### 最新問題: 14

オラクルクラウドインフラストラクチャの自律データウェアハウスを使用する主な利点はどれですか？

- A. ユーザー名とパスワードは必要ありません
- B. ダウンタイムなしでCPUとストレージの両方を拡張
- C. データベースパッチが利用可能になったら適用します
- D. 基盤となるオペレーティングシステムへのルートレベルのエーカーを維持します

**Answer: B** ([メッセージを残す](#))

Oracle Autonomous Data Warehouseは、データウェアハウスの運用とデータの保護に関する複雑さを事実上すべて排除するクラウドデータウェアハウスサービスです。データウェアハウスのプロビジョニング、構成、セキュリティ保護、チューニング、スケーリング、パッチ適用、バックアップ、および修復を自動化します。サービスにパッチを適用して更新するだけのその他の完全に管理されたクラウドデータウェアハウスソリューションとは異なり、弾力性のある自動スケーリング、パフォーマンスチューニング、セキュリティ、および機械学習分析、シンプルなデータ読み込み、およびデータの視覚化。

データウェアハウスは、継続的なクエリ最適化、テーブルインデックス作成、データサマリー、および自動調整を使用して、データの量とユーザー数が増えても一貫した高いパフォーマンスを保証します。自律スケーリングにより、パフォーマンスを維持するために、コンピューティングとI/Oを一時的に3倍に増やすことができます。拡張にダウンタイムを必要とする他のクラウドサービスとは異なり、AutonomousDataWarehouseはサービスの実行を継続しながら拡張します。

#### 最新問題: 15

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) 仮想シンDBシステムの主な利点は何ですか？

- A. RACDBシステムのサポート
- B. データベースインデックスを作成する必要はありません
- C. OCIブロックボリュームへの自動バックアップ
- D. 自動ディザスタリカバリ

**Answer: A (メッセージを残す)**

仮想マシン上のDBシステムには、次の2つのタイプがあります。

\* 1ノードの仮想マシンDBシステムは、1台の仮想マシンで構成されます。

\* 2ノードの仮想マシンDBシステムは、2台の仮想マシンで構成されます。RAC) 仮想シンDBシステムデータベースは、ローカルストレージの代わりにOracleCloudInfrastructureブロックストレージを使用します。DBシステムの起動時にストレージサイズを指定し、必要に応じていつでもストレージをスケールアップできます。

1ノードの仮想マシンDBシステムの場合、Oracle Cloud Infrastructureには、ストレージ管理ソフトウェアとしてLogicalVolumeManagerを使用してDBシステムを作成できる「高速プロビジョニング」オプションがあります。

Oracle Cloud Infrastructureは、ベアメタルまたは仮想マシン上でシングルノードDBシステムを提供し、仮想マシン上で2ノードRACDBシステムを提供します。開発またはテストの目的でDBシステムをプロビジョニングする必要がある場合は、特別な高速プロビジョニングシングルノード仮想マシンシステムを利用できます。

これらのシステムは、コンソール、API、Oracle Cloud Infrastructure CLI、データベース

CLI (DBCLI)、Enterprise Manager、Enterprise Manager Express、またはSQLDeveloperを使用して管理できます。

## Supported Database Editions and Versions<sup>®</sup>

All single-node Oracle RAC DB systems support the following Oracle Database editions:

- Standard Edition
- Enterprise Edition
- Enterprise Edition - High Performance
- Enterprise Edition - Extreme Performance

Two-node Oracle RAC DB systems require Oracle Enterprise Edition - Extreme Performance.

For standard provisioning of DB systems (using [Oracle Automatic Storage Management ↩](#) (ASM) as your storage management software), the supported database versions are:

- Oracle Database 19c (19.0)
- Oracle Database 18c (18.0)
- Oracle Database 12c Release 2 (12.2)
- Oracle Database 12c Release 1 (12.1)
- Oracle Database 11g Release 2 (11.2)

For [fast provisioning](#) of single-node virtual machine database systems (using [Logical Volume Manager ↩](#) as your storage management software), the supported database versions are:

- Oracle Database 20c (20.0) - [Preview version](#) only
- Oracle Database 19c (19.0)
- Oracle Database 18c (18.0)

### 最新問題: 16

Terraformを活用してインフラストラクチャをコードとして構成するOracleCloudInfrastructureサービスはどれですか？

- A. リソースマネージャー
- B. イベント
- C. コンパートメントエクスプローラー
- D. Oracle関数

**Answer: A (メッセージを残す)**

Resource Managerは、OracleCloudInfrastructureリソースのプロビジョニングプロセスを自動化できるOracleCloudInfrastructureサービスです。Resource Managerは、Terraformを使用して、「Infrastructure-as-code」モデルを介してリソースをインストール、構成、および管理するのに役立ちます。

Terraform構成は、インフラストラクチャを宣言型構成ファイルに体系化します。Resource Managerを使用すると、複数のチームやプラットフォーム間でインフラストラクチャ構成と状態ファイルを共有および管理できます。このインフラストラクチャ管理は、ローカルのTerraformイ

ンストールとOracleTerraformモジュールだけでは実行できません。Oracle Cloud Infrastructure Terraformプロバイダーの詳細は、「Terraformプロバイダー」を参照してください。Terraformと「Infrastructure-as-code」モデルの一般的な概要については、<https://www.terraform.io>を参照してください。

有効な **1z0-1085-22** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 1z0-1085-22 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **1z0-1085-22** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com 1z0-1085-22 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com 1z0-1085-22 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Oracle/1z0-1085-22-mondaishu.html> (15230%OFF問題集溶と正解付きで 30%w特別割引ロード:

**Freepdfdumps)**

最新問題: 17

新規の顧客が、管理者として初めてOracle Cloud Infrastructure (OCI)にログインしました。管理者は、インフラストラクチャをホームリージョン以外のリージョンに展開したいと考えています。このタスクを達成するために彼らが取らなければならない最初のストップは何ですか？

- A. APIエンドポイントを使用して、目的のリージョンにリソースを作成します。
- B. 目的のリージョンに移動し、リソースの作成を開始します。
- C. 目的のリージョンにサブスクライブします。
- D. 追加の各リージョンにアクセスするためのサービスリクエストを提出します。

**Answer:** ([解答を表示する](#))

Oracle Cloud Infrastructureにサインアップすると、Oracleは1つのリージョンにテナンシーを作成します。これはあなたの故郷です。ホームリージョンは、IAMリソースが定義されている場所です。別のリージョンにサブスクライブすると、IAMリソースは新しいリージョンで使用可能になりますが、マスター定義はホームリージョンに存在し、そこでのみ変更できます。

テナンシーを新しいリージョンにサブスクライブすると、ホームリージョンのすべてのポリシーが新しいリージョンで適用されます。ユーザーのグループのアクセスを特定のリージョンに制限する場合は、特定のリージョンのみへのアクセスを許可するポリシーを作成できます。

参照：

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Identity/Tasks/managingregions.htm>別のリージョンにインスタンスを作成するには、次の準備手順を実行します。

1. サブスクリプションを別のリージョンに拡張します。
2. Oracle Cloud Infrastructure (OCI)を使用して、新しいリージョンからOracle Identity Cloud Service (IDCS)を統合します。

また、これらのサービスを購入するか、無料のプロモーションにサインアップするときは、通常、それらにアクセスするためにあなたの場所に最も近いデータリージョンを選択します。これがプ

ライマリデータリージョンになります。ただし、必要に応じて、サブスクリプションを他の地理的地域（同じクラウドアカウント内）に拡張し、そこでサービスを使用することができます。

**最新問題: 18**

OracleCloudInfrastructureコンピューティングサービスで提供されていないSLAタイプはどれですか。

- A. データプレーン
- B. パフォーマンスプレーン
- C. サービスプレーン
- D. コントロールプレーン

**Answer: C** ([メッセージを残す](#))

サービスプレーンは、OCIが提供するSLAではありません。以下の表を参照してください。



The image shows a table titled "OCI services with SLA" with a large "ORACLE" watermark in red and a "jpnpdf.com" watermark in grey. The table has four columns: "Services", "Data Plane", "Control Plane", and "Perf.". The rows list various services and their SLA support status.

Services	Data Plane	Control Plane	Perf.
Compute	Yes	Yes	Yes
Block Volume	Yes	Yes	Yes
File Storage	Yes	Yes	
Database - Dense I/O	Yes	Yes	
Database Cloud Service	Yes	Yes	
Database Exadata Service	Yes	Yes	
Data Safe	Yes	Yes	
Other services - API Gateway, Autonomous Data Warehouse, Autonomous Transaction Processing, Database Backup Cloud Service, Digital Assistant, DNS, Email, FastConnect, Functions, Health Checks, Integration Cloud, Key Management, Load Balancer, Monitoring, NoSQL Database Cloud, Notifications Service, Object Storage, Outbound Data Transfer, Streaming Service, Web Application Firewall	Yes		

**最新問題: 19**

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) IDおよびアクセス管理サービスの一部である3つのコンポーネントはどれですか。

- A. 地域のサブネット
- B. ポリシー
- C. ユーザー
- D. インスタンスの計算
- E. 動的グループ
- F. 役割
- G. 仮想クラウドネットワーク

**Answer: (解答を表示する)**

IAMのコンポーネント

IAMは、このセクションで説明されているコンポーネントを使用します。コンポーネントがどのように組み合わせられるかをよりよく理解するには、シナリオ例を参照してください。

資源

会社の従業員がOracleCloudInfrastructureと対話するときに作成し、使用するクラウド オブジェクト。例 :コンピューティングインスタンス、ブロックストレージボリューム、仮想クラウドネットワーク (VCN)、サブネット、ルートテーブルなど。

#### ユーザー

会社のOracleCloudInfrastructureリソースを管理または使用する必要がある個々の従業員またはシステム。ユーザーは、インスタンスの起動、リモートディスクの管理、仮想クラウドネットワークの操作などを行う必要がある場合があります。アプリケーションのエンドユーザーは通常、IAMユーザーではありません。ユーザーは1つ以上のIAMクレデンシャルを持っています (ユーザークレデンシャルを参照)。

#### グループ

特定のリソースまたはコンパートメントのセットへの同じタイプのアクセスをすべて必要とするユーザーのコレクション。

#### ダイナミックグループ

定義したルールに一致するリソース (コンピューティングインスタンスなど)を含む特別なタイプのグループ (したがって、一致するリソースが作成または削除されると、メンバーシップは動的に変更される可能性があります)。これらのインスタンスは「主要な」アクターとして機能し、動的グループ用に作成したポリシーに従ってサービスへのAPI呼び出しを行うことができます。

#### ネットワークソース

テナンシー内のリソースへのアクセスが許可されているIPアドレスのグループ。IPアドレスは、パブリックIPアドレスまたはテナンシー内のVCNからのIPアドレスにすることができます。ネットワークソースを作成したら、ポリシーを使用して、ネットワークソースのIPから発信された要求のみにアクセスを制限します。

#### 区画

関連リソースのコレクション。コンパートメントは、クラウド リソースを編成および分離するためのOracleCloudInfrastructureの基本コンポーネントです。これらを使用して、使用量と請求、アクセス (ポリシーの使用による)、および分離 (一つのプロジェクトまたはビジネスユニットのリソースを別のプロジェクトまたはビジネスユニットから分離する)を測定する目的で、リソースを明確に分離します。一般的なアプローチは、組織の主要部分ごとにコンパートメントを作成することです。詳細については、テナントの設定を参照してください。

#### テナント

組織のすべてのOracleCloudInfrastructureリソースを含むルートコンパートメント。Oracleは、会社のテナントを自動的に作成します。テナンシー内には、IAMエンティティ (ユーザー、グループ、コンパートメント、および一部のポリシー。テナンシー内のコンパートメントにポリシーを配置することもできます)が直接含まれます。作成したコンパートメント内に、他のタイプのクラウドリソース (インスタンス、仮想ネットワーク、ブロックストレージボリュームなど)を配置します。

#### ポリシー

誰がどのリソースにどのようにアクセスできるかを指定するドキュメント。アクセスはグループおよびコンパートメントレベルで付与されます。つまり、特定のコンパートメント内、またはテナンシー自体への特定のタイプのアクセスをグループに与えるポリシーを作成できます。グループ

にテナンシーへのアクセスを許可すると、グループはテナンシー内のすべてのコンパートメントに同じタイプのアクセスを自動的に取得します。詳細については、シナリオの例とポリシーの仕組みを参照してください。ポリシー」という言葉は、さまざまな方法で人々によって使用されます。ポリシー言語で書かれた個々のステートメントを意味します。ポリシー」ドキュメント (Oracle Cloud ID (OCID)が割り当てられている)という名前の単一のステートメントのコレクションを意味します。また、組織がリソースへのアクセスを制御するために使用するポリシー全体を意味します。

#### ホームリージョン

IAMリソースが存在するリージョン。すべてのIAMリソースはグローバルであり、すべてのリージョンで利用できますが、定義のマスターセットは、ホームリージョンである単一のリージョンに存在します。ホームリージョンのIAMリソースに変更を加える必要があります。変更はすべてのリージョンに自動的に反映されます。詳細については、リージョンの管理を参照してください。

#### フェデレーション

管理者がIDプロバイダーとサービスプロバイダーの間で構成する関係。Oracle Cloud InfrastructureをIDプロバイダーとフェデレーションする場合、IDプロバイダーでユーザーとグループを管理します。OracleCloudInfrastructureのIAMサービスで許可を管理します。Oracle Cloud Infrastructureのテナントは、デフォルトでOracle IdentityCloudServiceと統合されています。

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Identity/Concepts/overview.htm>

#### 最新問題: 20

OracleCloudInfrastructureが提供するセキュリティサービスはどれですか。

- A. 証明書管理システム
- B. キー管理
- C. 管理対象Active Directory
- D. 管理された侵入検知

**Answer: B (メッセージを残す)**

Oracle Cloud Infrastructure Key Managementは、管理するキーを使用してデータを暗号化できるマネージドサービスです。



The infographic features the Oracle logo at the top center. Below it, three circular icons represent different benefits: a padlock for 'Your Keys - Protected', a server rack for 'Managed Service', and a folder with a coin for 'Enhance Compliance'. Each icon is accompanied by a title and a short paragraph of text. A large watermark 'jprndf.com' is overlaid diagonally across the entire infographic.

Icon	Benefit Title	Description
Padlock	Your Keys - Protected	Oracle protects the security of your keys by storing them in a FIPS 140-2 Level 3 certified hardware security module (HSM).
Server rack	Managed Service	Oracle Key Management is a managed service, so you can focus on your encryption needs rather than on procuring, provisioning, configuring, updating and maintaining HSMs and key management software.
Folder with coin	Enhance Compliance	Integrates with Oracle Identity and Access Management (IAM) so you can control permissions on individual keys and key vaults, and monitor their lifecycle via integration with Oracle Audit.

#### 最新問題: 21

OCIコンソールのコスト分析ツールを使用してOracleCloudInfrastructure (OCI)の使用状況を分析しています。

ツールのデフォルト機能ではないものはどれですか？

- A. アプリケーションによるコストのフィルタリング
- B. コンパートメントによるコストのフィルタリング
- C. タグでコストをフィルタリング
- D. コストを日付でフィルタリング

**Answer:** ([解答を表示する](#))

次の3つの方法で、コスト分析ツールをフィルタリングできます。

日付でコストをフィルタリングするには

タグでコストをフィルタリングするには

コンパートメントでコストをフィルタリングするには

参照：

<https://www.oracle.com/a/ocom/docs/cloud/ops-billing-100.pdf>

#### 最新問題: 22

新規の顧客が、管理者として初めてOracle Cloud Infrastructure (OCI)にログインしました。管理者はインフラストラクチャを展開したいと考えています。このタスクを達成するために彼らが取らなければならない最初のステップは何ですか？

- A. 追加の各リージョンにアクセスするためのサービスリクエストを提出します。
- B. APIエンドポイントを使用して、目的のリージョンにリソースを作成します。
- C. 目的のリージョンにサブスクライブします。
- D. 目的のリージョンに移動し、リソースの作成を開始します。

**Answer: C** ([メッセージを残す](#))

Oracle Cloud Infrastructureにサインアップすると、Oracleは1つのリージョンにテナンシーを作成します。これはあなたの故郷です。ホームリージョンは、IAMリソースが定義されている場所です。別のリージョンにサブスクライブすると、IAMリソースは新しいリージョンで使用可能になりますが、マスタ一定義はホームリージョンに存在し、そこでのみ変更できます。

テナンシーを新しいリージョンにサブスクライブすると、ホームリージョンのすべてのポリシーが新しいリージョンで適用されます。ユーザーのグループのアクセスを特定のリージョンに制限する場合は、特定のリージョンのみへのアクセスを許可するポリシーを作成できます。

参照：

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Identity/Tasks/managingregions.htm>

#### 最新問題: 23

以下の説明のうち、Oracle Cloudインフラストラクチャコンパートメントに当てはまらないものはどれですか？

- A. リソースをあるコンパートメントから別のコンパートメントに移動できます
- B. コンパートメントはネストできません
- C. 各OCIリソースは単一のコンパートメントに属します

D. リソースとコンパートメントはいつでも追加および削除できます

**Answer: B (メッセージを残す)**

コンパートメントを作成するときは、親コンパートメント内で一意の名前（文字、数字、ピリオド、ハイフン、アンダースコアを含む最大100文字）を指定する必要があります。また、コンパートメントの説明を1~400文字で指定する必要があります。これは、コンパートメントの一意ではない変更可能な説明です。Oracleは、コンパートメントにOracleCloudIDと呼ばれる一意のIDも割り当てます。

コンパートメントにサブコンパートメントを作成して、6レベルの深さの階層を作成できます。

参照：

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Identity/Tasks/managingcompartments.htm>

Oracle Cloud Infrastructureを初めて使用するときは、コンパートメントをどのように使用するかを慎重に検討する必要があります。クラウドリソースを整理して分離します。コンパートメントはそのプロセスの基本です。ほとんどのリソースはコンパートメント間で移動できます。ただし、何かを実装する前に、組織のコンパートメントの設計を事前に検討することが重要です。詳細については、テナントの設定を参照してください。

コンソールは、現在のリージョン内のコンパートメントごとにリソースを表示するように設計されています。コンソールでリソースを操作するときは、ページのリストから作業するコンパートメントを選択する必要があります。そのリストは、アクセス許可があるテナンシー内のコンパートメントのみを表示するようにフィルタリングされます。管理者の場合は、すべてのコンパートメントを表示し、コンパートメントのリソースを操作する権限がありますが、アクセスが制限されているユーザーの場合は、おそらくアクセスできません。

コンパートメントは、地域全体でテナント全体に渡っています。コンパートメントを作成すると、テナンシーがサブスクライブされているすべての地域で利用できます。コンパートメントエクスプローラーを使用すると、特定のコンパートメント内のリソースのクロスリージョンビューを取得できます。コンパートメント内のすべてのリソースの表示を参照してください。

コンパートメントにサブコンパートメントを作成して、6レベルの深さの階層を作成できます。



#### 最新問題: 24

DBAチームの管理と保守の労力を最小限に抑えてクラウドの弾力性を求めているお客様にとって、最も経済的なOracle Cloud Infrastructure (OCI) データベースソリューションはどれですか。

- A. OCIベアメタルDBシステム
- B. OCI仮想マシンDBシステム
- C. OCI Exadata DBシステム。
- D. OCI自律データベース

**Answer: C** ([メッセージを残す](#))

Exadata DBシステムを使用すると、Oracle Cloud Infrastructure内でExadataの機能を活用できません。Exadata DBシステムは、ベース・システム、クォーター・ラック、ハーフ・ラック、またはフル・ラックの計算ノードとストレージ・サーバーで構成され、高速で低遅延のInfiniBandネットワークとインテリジェントなExadataソフトウェアによって相互に接続されています。自動バックアップを構成し、さまざまなワークロードに合わせて最適化し、システムをスケールアップして需要の増加に対応できます。

オラクルは現在、ゼロダウンタイム移行サービスを提供しています。これは、オンプレミスのOracleデータベースおよびOracle Cloud Infrastructure ClassicデータベースをOracle Cloud Infrastructureにすばやく簡単に移動する方法です。データベースは、Exadata、Exadata Cloud @ Customer、ベアメタル、および仮想マシンのタイプのOracle Cloud Infrastructureシステムに移行できます。

ゼロダウンタイムマイグレーションは、Oracle Active Data Guardを活用して、Oracle Cloud Infrastructureシステムにデータベースのスタンバイインスタンスを作成します。

準備ができたときにのみ切り替えると、ソースデータベースはスタンバイとして引き続き使用できます。ゼロダウンタイム移行サービスを使用して、データベースを個別に、またはフリーレベルで移行します。詳細は、「ゼロダウンタイム移行を使用したOracleCloudへの移行」を参照してください。

#### 最新問題: 25

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) 共有セキュリティモデルによるOracleの責任は何ですか？

- A. OCIサービスを安全に構成する
- B. データの分類とコンプライアンス
- C. アプリケーションのワークロードを保護する
- D. データセンター施設のセキュリティ

**Answer:** ([解答を表示する](#))

オラクルの使命は、ビジネス向けのクラウドインフラストラクチャとプラットフォームサービスを構築して、効果的で管理しやすいセキュリティを実現し、ミッションクリティカルなワークロードを実行してデータを自信を持って保存することです。

Oracle Cloud Infrastructureは、エンタープライズ・クラウド・サービスを保護するためのクラス最高のセキュリティ・テクノロジーと運用プロセスを提供します。ただし、Oracle Cloud Infrastructureでワークロードを安全に実行するには、セキュリティとコンプライアンスの責任を認識しておく必要があります。設計上、Oracleはクラウドインフラストラクチャと運用（クラウドオペレータのアクセス制御、インフラストラクチャセキュリティパッチなど）のセキュリティを提供し、クラウドリソースを安全に構成する責任はユーザーにあります。クラウドのセキュリティは、ユーザーとオラクルの間で共有される責任です。

共有のマルチテナントコンピューティング環境では、オラクルは基盤となるクラウドインフラストラクチャ（データセンター施設、ハードウェアおよびソフトウェアシステムなど）のセキュリティを担当し、ワークロードの保護とサービスの構成（コンピューティング、ネットワーク、ストレージ、およびデータベース）を安全に。

Oracleソフトウェアがインストールされていない完全に分離されたシングルテナントのベアメタルサーバーでは、アプリケーションをデプロイするソフトウェアスタック全体（オペレーティングシステム以上）を持ち込むと、責任が増大します。この環境では、ワークロードを保護し、サービス（コンピューティング、ネットワーク、ストレージ、データベース）を安全に構成し、ベアメタルサーバーで実行するソフトウェアコンポーネントが安全に構成、展開、および管理されるようにする責任があります。

より具体的には、あなたとオラクルの責任は次の領域に分けることができます。

- **Identity and Access Management (IAM):** As with all Oracle cloud services, you should protect your cloud access credentials and set up individual user accounts. You are responsible for managing and reviewing access for your own employee accounts and for all activities that occur under your tenancy. Oracle is responsible for providing effective IAM services such as identity management, authentication, authorization, and auditing.
- **Workload Security:** You are responsible for protecting and securing the operating system and application layers of your compute instances from attacks and compromises. This protection includes patching applications and operating systems, operating system configuration, and protection against malware and network attacks. Oracle is responsible for providing secure images that are hardened and have the latest patches. Also, Oracle makes it simple for you to bring the same third-party security solutions that you use today.
- **Data Classification and Compliance:** You are responsible for correctly classifying and labeling your data and meeting any compliance obligations. Also, you are responsible for auditing your solutions to ensure that they meet your compliance obligations.
- **Host Infrastructure Security:** You are responsible for securely configuring and managing your compute (virtual hosts, containers), storage (object, local storage, block volumes), and platform (database configuration) services. Oracle has a shared responsibility with you to ensure that the service is optimally configured and secured. This responsibility includes hypervisor security and the configuration of the permissions and network access controls required to ensure that hosts can communicate correctly and that devices are able to attach or mount the correct storage devices.
- **Network Security:** You are responsible for securely configuring network elements such as virtual networking, load balancing, DNS, and gateways. Oracle is responsible for providing a secure network infrastructure.
- **Client and Endpoint Protection:** Your enterprise uses various hardware and software systems, such as mobile devices and browsers, to access your cloud resources. You are responsible for securing all clients and endpoints that you allow to access Oracle Cloud Infrastructure services.

#### 最新問題: 26

可用性ドメイン内の予期しないハードウェアまたは電源装置の障害から保護するために使用できる機能はどれですか？

- A. フォールトドメイン
- B. コンパートメント
- C. トップオブラックスイッチ
- D. 配電ユニット

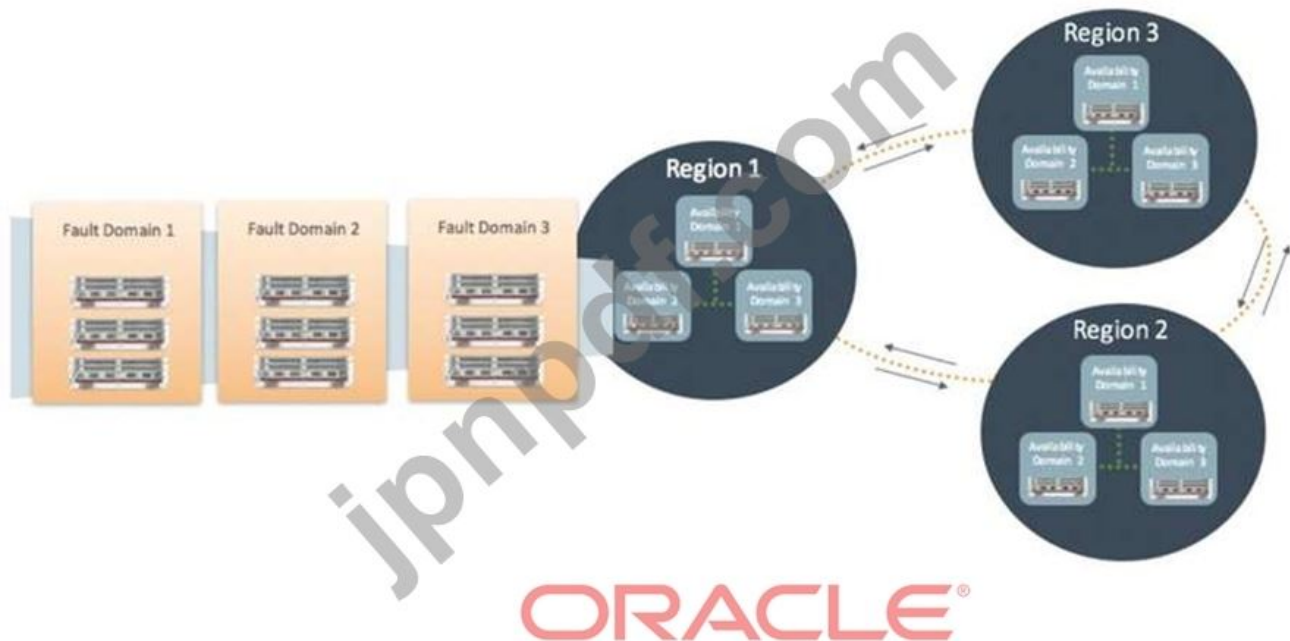
**Answer: A (メッセージを残す)**

障害ドメインは、可用性ドメイン内のハードウェアとインフラストラクチャのグループです。各可用性ドメインには、3つの障害ドメインが含まれています。障害ドメインは非親和性を提供しません。インスタンスを分散して、インスタンスが単一の可用性ドメイン内の同じ物理ハードウェア上にないようにします。1つの障害ドメインに影響を与えるハードウェア障害またはコンピューティングハードウェアメンテナンスイベントは、他の障害ドメインのインスタンスには影響しません。さらに、フォールトドメイン内の物理ハードウェアには独立した冗長電源があり、1つの

フォールトドメイン内の電源ハードウェアの障害が他のフォールトドメインに影響を与えるのを防ぎます。

通常、次のことを行うためにドメインに障害が発生します。

- 1) 予期しないハードウェア障害または電源障害から保護します。
- 2) コンピューティングハードウェアのメンテナンスによる計画停止から保護します。



#### 最新問題: 27

ストレージの最低価格 (GBあたり)を提供するのはどれですか？

- A. Oracle Cloud Infrastructure Object Storage (標準層)
- B. OracleCloudInfrastructureブロックボリューム
- C. Oracle Cloud Infrastructure Archive Storage
- D. OracleCloudInfrastructureファイルストレージ

**Answer: C (メッセージを残す)**

Oracle Cloud Infrastructure Archive Storageは、ストレージの最低価格 (GBあたり)です。リファレンス：

<https://www.oracle.com/cloud/storage/pricing.html>

Product	Unit Price	Metric
Block Volume Storage	\$0.0255	GB Storage Capacity / Month
Block Volume Performance Units	\$0.0017	Performance Units Per GB / Month <ul style="list-style-type: none"><li>• 0 VPU at \$0 for Lower Cost</li><li>• 10 VPUs at \$0.017 for Balanced</li><li>• 20 VPUs at \$0.034 for Higher Performance</li></ul>

上記のアーカイブストレージが最も安価です。

#### 最新問題: 28

複数のコンピューティングインスタンス間で共有ファイルシステムを提供できる  
OracleCloudInfrastructureストレージサービスはどれですか？

- A. ファイルストレージ
- B. ローカルNVMe
- C. オブジェクトストレージ
- D. アーカイブストレージ

**Answer:** ([解答を表示する](#))

Oracle Cloud Infrastructure File Storageサービスは、耐久性があり、スケーラブルで、安全な、エンタープライズグレードのネットワークファイルシステムを提供します。仮想クラウドネットワーク (VCN) 内の任意のベアメタル、仮想マシン、またはコンテナインスタンスからファイルストレージサービスファイルシステムに接続できます。Oracle Cloud Infrastructure FastConnectおよびインターネットプロトコルセキュリティ (IPSec) 仮想プライベートネットワーク (VPN) を使用して、VCNの外部からファイルシステムにアクセスすることもできます。

数千のインスタンスからなる大規模なコンピューティングクラスターは、ファイルストレージサービスを使用して高性能の共有ストレージを実現できます。ストレージプロビジョニングは完全に管理されており、事前のプロビジョニングなしで使用が1バイトからエクサバイトに拡大するにつれて自動的に使用されます。

参照：

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/File/Concepts/filestorageoverview.htm>

#### 最新問題: 29

お客様は、アプリケーションのバックアップを保存するOracle Cloud Infrastructure (OCI) を使用したいと考えています。このバックアップは、数か月間保存できますが、ビジネスニーズに基づいてすぐに取得できます。この要件を満たすために使用できるOCIストレージサービスはどれですか？

- A. アーカイブストレージ
- B. ブロックボリューム
- C. オブジェクトストレージ (標準)
- D. ファイルストレージ

**Answer:** C ([メッセージを残す](#))

Oracle Cloud Infrastructureは、パフォーマンスの高い、頻繁にアクセスされる「ホット」ストレージと、あまりアクセスされない「コールド」ストレージの両方のニーズに対応するために、2つの異なるストレージクラス層を提供します。ストレージ階層は、必要に応じてパフォーマンスを最大化し、可能な場合はコストを最小化するのに役立ちます。

高速、即時、頻繁なアクセスが必要なデータには、オブジェクトストレージを使用します。データのアクセス可能性とパフォーマンスは、オブジェクトストレージ層にデータを保存するためのより高い価格を正当化します。

アクセスすることがめったにない、またはめったにないデータにはアーカイブストレージを使用しますが、データは長期間保持および保存する必要があります。アーカイブストレージ層のコスト効率は、データへのアクセスに必要な長いリードタイムを相殺します。

オブジェクトストレージとは異なり、アーカイブストレージのデータ取得は瞬時ではありません。

参照：

<https://oracledbwr.com/oracle-cloud-infrastructure-object-storage-service/>

### 最新問題: 30

共有セキュリティモデルによると、Oracle Cloud Infrastructure (OCI)におけるお客様の責任はどれですか。

- A. OCIデータセンター施設の物理的セキュリティ
- B. 仮想マシンハイパーバイザー
- C. ローカルNVMeデータの永続性
- D. 顧客データ
- E. オブジェクトストレージデータの耐久性

**Answer:** ([解答を表示する](#))

顧客とオラクルの責任は、次の領域に分けることができます。

**物理的セキュリティ** :オラクルは、OracleCloudInfrastructureで提供されるすべてのサービスを実行するグローバルインフラストラクチャを保護する責任があります。このインフラストラクチャは、Oracle Cloud Infrastructureサービスを実行するハードウェア、ソフトウェア、ネットワーキング、およびファシリティで構成されています。

**Identity and Access Management (IAM)** すべてのOracleクラウドサービスと同様に、クラウドアクセスクレデンシャルを保護し、個々のユーザーアカウントを設定する必要があります。あなたは、あなた自身の従業員アカウントとあなたのテナントの下で発生するすべての活動へのアクセスを管理およびレビューする責任があります。オラクルは、ID管理、認証、承認、監査などの効果的なIAMサービスを提供する責任があります。

**ワークロードのセキュリティ** :コンピューティングインスタンスのオペレーティングシステムとアプリケーション層を攻撃や侵害から保護および保護する責任があります。この保護には、アプリケーションとオペレーティングシステムへのパッチ適用、オペレーティングシステムの構成、マルウェアとネットワーク攻撃に対する保護が含まれます。オラクルは、強化され、最新のパッチが適用された安全なイメージを提供する責任があります。また、オラクルでは、現在使用しているものと同じサードパーティのセキュリティソリューションを簡単に導入できます。

**データの分類とコンプライアンス** :データを正しく分類してラベルを付け、コンプライアンスの義務を果たす責任はユーザーにあります。また、ソリューションを監査して、コンプライアンス義務を満たしていることを確認する責任があります。

**ホストインフラストラクチャのセキュリティ** :コンピューティング（仮想ホスト、コンテナ）、ストレージ（オブジェクト、ローカルストレージ、ブロックボリューム）、およびプラットフォーム（データベース構成）サービスを安全に構成および管理する責任があります。オラクルは、サービスが最適に構成および保護されていることを確認する責任を共有しています。この責任には、ハイパーバイザーのセキュリティと、ホストが正しく通信できるようにし、デバイスが正しいストレージデバイスを接続またはマウントできるようにするために必要なアクセス許可とネットワークアクセス制御の構成が含まれます。

ネットワークセキュリティ：仮想ネットワーク、負荷分散、DNS、ゲートウェイなどのネットワーク要素を安全に構成する責任があります。オラクルは、安全なネットワークインフラストラクチャを提供する責任があります。

クライアントとエンドポイントの保護：企業は、モバイルデバイスやブラウザーなどのさまざまなハードウェアおよびソフトウェアシステムを使用して、クラウドリソースにアクセスします。Oracle Cloud Infrastructureサービスへのアクセスを許可するすべてのクライアントとエンドポイントを保護するのは、ユーザーの責任です。

参照：

[https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Security/Concepts/security\\_overview.htm](https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Security/Concepts/security_overview.htm)

#### 最新問題: 31

インフラストラクチャとアプリをOracleCloudInfrastructure (OCI)に移行することを検討しているお客様にとって、ビジネス上のメリットとして有効ではないものはどれですか。

- A. より迅速な市場参入
- B. 資本的支出から営業支出への変換
- C. 敏捷性の向上
- D. 総所有コスト (TCO)の増加

**Answer:** ([解答を表示する](#))

Oracle Cloud Infrastructureは、高可用性のホスト環境で幅広いアプリケーションとサービスを構築および実行できるようにする一連の補完的なクラウドサービスです。Oracle Cloud Infrastructureは、オンプレミスネットワークから安全にアクセスできる柔軟なオーバーレイ仮想ネットワークで、高性能コンピューティング機能（物理ハードウェアインスタンスとして）とストレージ容量を提供します。

参照：

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/GSG/Concepts/baremetalintro.htm> クラウドコンピューティングの主な利点の1つは、TCOの削減です。したがって、TCOの増加は誤ったオプションです。

有効な **1z0-1085-22** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 1z0-1085-22 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **1z0-1085-22** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com 1z0-1085-22 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com 1z0-1085-22 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Oracle/1z0-1085-22-mondaishu.html> (**15230%OFF**問題集溶と正解付きで **30%**w特別割引コード:

**Freepdfdumps)**

#### 最新問題: 32

ある会社が、OracleCloudInfrastructureでeコマースWebアプリケーションを開発しました。アプリケーションに最高レベルの復元力を持たせるには、どうすればよいですか？

- A. アプリケーションを複数のリージョンと可用性ドメインにデプロイします。
- B. アプリケーションを複数の可用性ドメインとサブネットにデプロイします。
- C. アプリケーションを複数の仮想クラウドネットワークにデプロイします。
- D. アプリケーションを複数の可用性ドメインと障害ドメインにデプロイします。

**Answer: A** ([メッセージを残す](#))

最高レベルの復元力を実現するには、リージョン間でアプリケーションをデプロイし、可用性ドメインと障害ドメインに分散できます。

参照：

<https://www.oracle.com/cloud/iaas/faq.html>

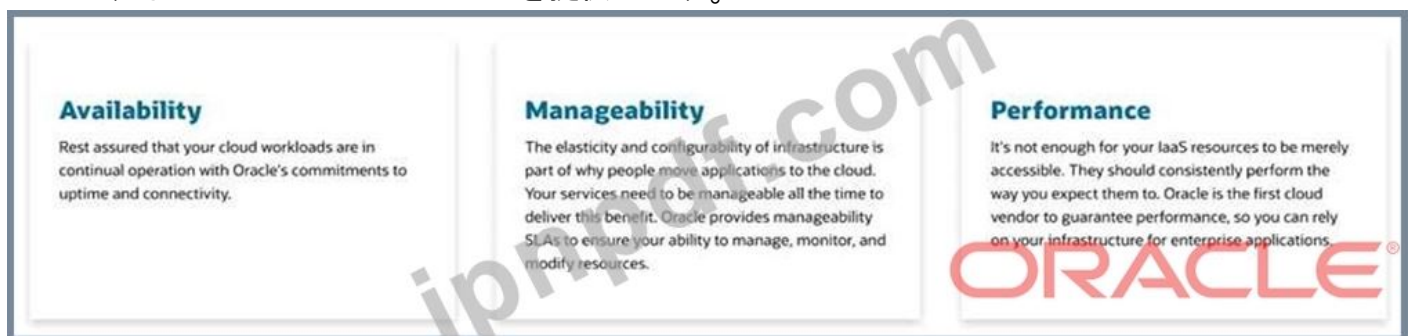
最新問題: 33

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) サービスレベルアグリーメント (SLA) の対象外となるのはどれですか？

- A. 管理性
- B. パフォーマンス
- C. 信頼性
- D. 可用性

**Answer:** ([解答を表示する](#))

<https://www.oracle.com/assets/paas-iaas-pub-cld-srvs-pillar-4021422.pdf> 企業は、クラウドインフラストラクチャからの可用性以上のものを求めています。ミッションクリティカルなワークロードには、一貫したパフォーマンスと、クラウドで実行されているリソースをいつでも管理、監視、および変更する機能も必要です。オラクルだけが、サービスのパフォーマンス、可用性、管理性をカバーするエンドツーエンドのSLAを提供します。



最新問題: 34

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) IDおよびアクセス管理サービスのコンポーネントではない機能はどれですか。

- A. フェデレーション
- B. ユーザー資格情報
- C. ポリシー
- D. ネットワークセキュリティグループ

**Answer:** ([解答を表示する](#))

**Valid 1z0-1085-22 Dumps** shared by GoShiken.com for Helping Passing 1z0-1085-22 Exam!  
GoShiken.com now offer the **newest 1z0-1085-22 exam dumps**, the GoShiken.com  
1z0-1085-22 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get  
the **newest** GoShiken.com 1z0-1085-22 dumps with Test Engine here:

<https://www.goshiken.com/Oracle/1z0-1085-22-mondaishu.html> (**152** Q&As Dumps, **30%OFF**

**Special Discount: Freepdfdumps)**